

活用ナビ

①【ねらい】 明治時代になって人々の暮らしがどのように変わったか考える。

②● 教科書の絵を見ましょう。いつの時代のどこの様子でしょうか。
※簡単に第一印象の感想を言わせてもよい。

③● 江戸時代から明治時代になって人々の暮らしはどのように変わったのか読み取りましょう。何を比べたらよいでしょうか。
※必要によって「たとえば服装ですね」というように例示する。

③● 江戸時代と変わったところを書きましょう。
※先の観点にそって書かせるが、どの観点からでもよいこと、出ていない観点でも構わないことを伝える。
※教科書の他の資料（年表）も参考にさせたい。

③● 発表しましょう。
※観点別に発表させる。発表内容が深まりやすい。

④● 人々の暮らしの変化の特徴は何でしょうか。
※「西洋ふう」以外の、子どもなりの表現で構わない。

⑤● 人々の考え方で変わったことは何でしょうか。教科書から探しましょう。
※キーワード「文明開化」をおさえる。

⑥● 明治時代の暮らしと考え方の変化についてノートにまとめましょう。自分の考えも書きましょう。

6年-14

2-8 明治の新しい国づくり
人々の暮らしが変わった

P176~P177

6年 組 番

名前

①【ねらい】 明治時代になって人々の暮らしがどのように変わったか考える。

②【基本】 教科書の絵を見よう。
・いつの時代のどこの様子だろうか。

明治時代の初めごろ、東京（銀座）の様子

③【ポイント】 明治時代になって人々の暮らしはどのように変わったのか読み取ろう。
・何を比べたらよいだろうか。

・服装 ・乗り物 ・道路 ・建物 ・街並み ・持っているもの ・仕事
・橋 ・髪型…

・変わったところを書こう。

・服装に洋服が入ってきた ・馬車や人力車の乗り物を利用している
・土ではなく石の道路に変わった ・建物が木ではなく丈夫そう
・かさがおしゃれになっている ・新聞のようなものを配っている人がいる
・街並みが今のような感じに近づいている ・ガス灯が使われている
・ちょんまげではなくなっている ・橋が木ではなく石でできている
・全体的に明るい雰囲気になっている

④人々の暮らしの変化の特徴は何だろうか。

・西洋ふうの暮らしになってきた
・今の生活の样に近い感じ

⑤人々の考え方で変わったことは何だろうか。教科書から探そう。

・学校制度ができ、小学校ができた
・西洋の文化を取り入れようとした

⑥明治時代の暮らしと考え方の変化についてノートにまとめよう。自分の考えも書こう。

資料の読解

この絵は、江戸時代から明治時代にかけての浮世絵師である三代目歌川広重の作品である。明治時代初期の銀座の繁栄ぶりが描かれている。いち早く西洋化された街並みや、文明開化の影響を受けた人々の様子は、江戸時代と比較すると、その違いが一目瞭然である。石造りの建物や橋、乗合馬車や人力車の乗り物、人々の髪型や服装、新たな仕事の様子等、いくつもの変化を発見できる絵である。

三代目歌川広重は、この他にも蒸気機関車をはじめ、当時の社会の様子を描いた作品を残している。他の作品を関連教材として示すことで、子どもたちの関心はさらに高まるであろう。

読解の方法

- (1) この絵の中にある江戸時代からの変化は数多い。しかしながら、ランダムに発表させると情報の焦点化が難しい。そこであらかじめ、比較する観点を話し合わせる。「たとえば服装ですね」というように例示することで、子どもたちからは次々と観点が出てくるであろう。
- (2) 絵から変わったところをワークシートに書かせる際には、教科書にある他の情報も加えてよいことを伝える。年表から、橋にある照明がガス灯であることを子どもは理解するであろう。また、既習の江戸時代の絵との比較も有効である。
- (3) 発表の際には、観点別にさせると効率的である。一つの観点について関連した発表が続き、内容が深まっていく。
- (4) ④は本時のねらいに関わる問いである。教科書には「西洋ふう」と書かれているが、子どもたちなりの表現で発表させて構わない。そして、それがキーワードとなり、まとめて使う用語となる。